

官民協働による九州の地域資源観光シェアリング化事業

提案者	特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム	要件	1・2
実施地域	佐賀県多久市・長崎県佐世保市・熊本県錦町・熊本県和水町		
事業概要	①TABICAを通じ、地域資源を魅力的な観光コンテンツ化し、地域在住の個人がつくる地域体験ツアーをサイト上に掲載、民間主導での地域体験シェアリングプラットフォームを構築・運営する。 ②ツアー内容や利用状況はTABICA上のクラウドデータベースに全て集め、課題の分析等を行い、自治体等にその知見を広く共有する。		



■地域が抱える課題

少子高齢化による人口減少、人材不足、自治体の財政難等から観光客は地方へ行かず、地域資源も有効活用されない状況である。

■事業展開後に想定される効果

- ・観光コンテンツ化を増やす事で、地方への観光客送客ができる
- ・立ち上げから運用まで既存の民間のオンラインプラットフォームを利用することで、初期立ち上げコストの大幅な抑制と地域のICT化を促進する。

■先進事例の横展開へ

- ・地域IoT実装推進ロードマップの官民協働サービス分野「シェアリングエコノミー」の横展開事業。
- ・TABICAは「ICT地域活性化大賞2016」にて奨励賞を受賞。

■関係団体とのタテ・ヨコ連携構築

3主体(自治体・TABICA・DMO法人ら地域関係団体)と実装エリア同士が連携して、地域課題の解決を担う着地型観光ツアー一造成を企画する。